

ちゅうい ヒアリに注意

ヒアリは、^{なんべいしゅっしん} 南米出身のちい 小さなアリです。

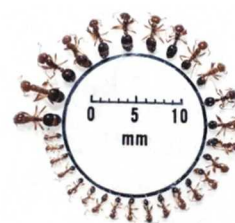
これまで日本ではみつかっていませんでしたが、
6～7月の間に、茨城、東京、神奈川、愛知、
兵庫、大阪でみつかりました。外国からきたコン
テナの中や、港の近くの地面にいました。



みわ かた 見分け方

- ^{あかちやいろ} 赤茶色で、ツヤツヤしている。おしりの色は暗め。
 - ^{いろいろ おお} 色々な大きさのアリが混じっている (2.5-6.0mm)。
 - ^{つち つか つく} 土で塚を作って集団で暮らす。
- ^{ちゅうい} 注意：塚をつつくと、ワツと出てきて集団で刺します。

いろいろな大きさがいる



S.D. Porter, USDA-ARS

あやしいアリがいたら、^{ちか} 近づかない、^{さわ} 触らないようにしましょう。

さ アリに刺されたら

^{おとな} すぐに大人に相談しましょう。

ヒアリだったら、刺されると、とっても痛い^{いた}です。かゆみ、じんましん^{いぎ}、息が苦しい^{くる}、ふらふらするなど体^{からだ}の変化^{へんか}が出ることもあります。

先生方、保護者の方へのお願い

ヒアリに似たアリの集団がいて、駆除をお考えの場合は、最寄りの環境省の地方環境事務所や、都道府県の環境部局にご相談ください。

ヒアリが集団でいる場合は、むやみな駆除は拡散させるおそれがあるほか、日本には在来^{こころ}のアリ (270種以上) がいて、生態系の中で重要な役割を担っており、全てのアリの駆除してしまうことは、日本の生態系を壊してしまうことにつながりかねません。

アリ塚



ヒアリ（火蟻）に注意

ヒアリは、これまで日本では見つかっていませんでしたが、6月以降、茨城、東京、神奈川、愛知、兵庫、大阪で見つかります（平成29年7月18日現在）。ヒアリの多くは、外国から運ばれてきたコンテナの中や、コンテナを水揚げするコンテナヤードで見つかっています。



特徴

- 体長は2.5mm～6.0mmほどの小さな赤茶色のアリです。
- 南米原産ですが、北米、中国、オーストラリアなどで定着しています。
- 土で大きなアリ塚を作り、集団で生活します。
- 攻撃性が強く、棒などで塚をつつくと、集団でワッと出てきて襲いかかります。

アリ塚

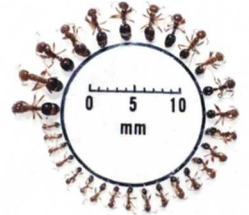


見分け方

小さいため見分けるのは難しいですが、肉眼でわかる特徴もあります。

- 赤っぽくツヤツヤしている。腹部（おしり）の色は暗め。
 - 働きアリの大きさは2.5mm-6.0mm。色々な大きさのアリが混じっている。
- 違う種類：黒いアリ、2.5mm以下の小さなアリ、6.0mm以上の大きなアリ

いろいろな大きさがいる



お願い

ヒアリに似たアリの集団がいて、駆除をお考えの場合は、最寄りの環境省の地方環境事務所や、都道府県の環境部局にご相談ください。

ヒアリが集団でいる場合は、むやみな駆除は拡散させるおそれがあるほか、日本には在来のアリ（270種以上）がいて、生態系の中で重要な役割を担っており、全てのアリの駆除してしまうことは、日本の生態系を壊してしまうことにつながりかねません。

S.D. Porter, USDA-ARS

もしも、アリの刺されたら

- ヒアリであれば、刺された時に熱い！と感じるような激しい痛みがあります。かゆみ、腫、はれ、じんましんや、アレルギー症状が重篤な場合はアナフィラキシー症状（呼吸困難、血圧低下、意識障害）を引き起こす可能性もあります。
- 異変を感じた場合は、直ちに医療機関を受診してください。